

私が放送するときは毎日京都から大阪まで出かけていたのですが、その期間中のことでした。友成最一さんが私を松茸山に案内されたのです。大阪と京都の間にある高槻というところあたりだったと思うのです。その山の中にお寺があるからそこで尋ねるとわかるとのことでした。放送は午後六時からでしたので、多分お昼前から出かけたのではなかったかと思うのです。山の中に行つて見るとお寺があつたので、そこに行つて友成さんのことを話しますと、若いお坊さんが案内してくれたのです。案内を受けながら二人ならんで石の階段をだんだん上がつて行くと、お寺の屋根にアンテナがあるのが見えたのです。それで私が何気なく「アンテナがありますね、何かおもしろい放送がありますか？」といつて尋ねたのです。ところがどうでしょう。私がそういつて尋ねると、すぐその若いお坊さんが「中根先生ですか」といつたのです。びっくりしたのです。「どうして分かりましたか」というと「声で分かりました」といわれ、全く驚きもし、また嬉しくも思つたのです。何というお寺だったか、何というお坊さんだったか、お名前も聞かなかつたことは残念でした。